第１号様式（第２条第１号ア）　　　　　　　　　　　（表）

係留施設使用許可申請書

年　　月　　日

（申請先）

船長氏名

申請者の氏名又は名称

（法人の場合は、名称・代表者の氏名）

申請者の住所又は所在地

担当者の氏名・連絡先

次のとおり係留施設（岸壁・物揚場）を使用したいので申請します。

【 外航 ・ 内航 】

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者コード |  |
| 船 舶 基 本 情 報 | 船名 |  | IMO番号（又は船舶番号・漁船登録番号） |
| 船種 | 【 貨物船・コンテナ船 ・ 貨客船 ・ 客船 ・ 油槽船 ・ 漁船 ・ その他 】 | ／ | 【 汽船 ・ 機船 ・ 機帆船 ・ その他 】 |
| 国籍 |  | 船籍港 |  |
| 総トン数 | 国際総トン数 | 重量トン数 | 全長 |
| 連絡方法 | 呼出符合（信号符字） | 船舶電話番号、インマルサット電話番号、FAX番号その他連絡方法 |
| 船 主 等 情 報 | 船主名（所有者名）・住所・電話番号又はFAX番号 | （コード） |  |
| （名前） |  |
| （住所） |  |
| （電話番号又はFAX番号） |  |
| 運航者名・住所・電話番号又はFAX番号（運航者と船舶賃借人が異なる場合は、船舶賃借人名・住所・電話番号又はFAX番号を併記すること） |
| （名前） |  | （コード） |  |
| （住所） |  |
| （電話番号又はFAX番号） |  |
| 代理人（店）名・住所・電話番号又はFAX番号 | （コード） |  |
| （名前） |  |
| （住所） |  |
| （電話番号又はFAX番号） |  |
| 入 港 情 報 | 入港予定港名 | 入港予定日時月　　日　　　　時　　分 |
| 停泊目的 | 希望びょう泊場所 | びょう泊予定期間月　　日　　　　時　　分から月　　日　　　　時　　分まで |
| 係留施設（希望船席）名称・場所 | （コード） |  |
| 着岸（予定）日時月　　日　　　　時　　分 | 離岸（予定）日時月　　日　　　　時　　分 |
| 移動前停泊場所 | 移動後停泊場所 |
| 移動理由 | 移動予定日時月　　日　　　　時　　分 | 移動後停泊予定期間月　　日　　　　時　　分から月　　日　　　　時　　分まで |
| 運航区分【入港・移動】 | 着岸舷側【左舷・右舷】 | （被）接舷船名 | 最大喫水（入港から出航まで）（m） |
| 航 海 情 報 | 航路名 |  | 【優先指定・定期・不定期】 |
| 仕出港 | 前港 | 次港 | 仕向港 |
| 特定海域の入域の位置及び入域の予定時刻（入域位置）　【東京湾 ・ 伊勢湾 ・ 紀伊水道 ・ 豊後水道 ・ 関門海峡】 | （予定日時） | 月　　日　　　　時　　分 |

（A4）

（裏）

|  |  |
| --- | --- |
| 船名 | IMO番号（又は船舶番号・漁船登録番号） |
| 貨 物 情 報 | 本邦内での陸揚貨物の種類（積荷地）・数量 | 入港予定港における船積貨物の種類・数量 |
| 入港予定港 | （種類） | （数量） | （種類） | （数量） |
| その他本邦の港（入港予定港が本邦での最初の寄港地で、かつ、その他本邦の港でも陸揚貨物がある場合に記載） |  |  |
| 危 険 物 情 報 |  | 品名（積荷地）・等級・国連番号・容器等級・引火点（密閉式による摂氏） | こん包の数・正味重量 | 船舶内の積付け位置 |
| 入港時 |  |  |  |
| 出港時 |  |  |  |
| 危険物荷役情報 | 危険物荷役業者名・電話番号 |
| 危険物荷役期間月　　日　　　　時　　分から月　　日　　　　時　　分まで |
| 保 障 契 約 情 報 | 保障契約締結の有無 | 保障契約証明書等の番号（保障契約証明書等を有している場合） |
| 【 有 ・ 無 】 | 一般船舶等保障契約証明書 |  |
| 難破物保障契約証明書 |  |
| CLC条約証書 |  |
| バンカー条約証書 |  |
| ナイロビ条約証書 |  |
| 保障契約証明書等を有していない場合の記入事項＊ | ①保険者等の氏名又は名称 |  |
| ②保障契約の証書の番号 |  |
| ③保障契約の有効期間 |  |
| ④燃料油濁損害及び船体撤去の費用を担保・填補する契約となっているか | 【なっている ・ なっていない】 |
| ⑤保障限度額 |  |
| 過去１年間の本邦内の港への入港実績の有無 | 【 有・無 】 |
| 備 考 | ＊総トン数100トン以上1,000トン以下の一般船舶（燃料油油濁損害）、総トン数100トン以上300トン未満の一般船舶（船骸撤去等の費用）に限り、①～⑤の項目を記載することで、保障契約証明書等に替えることができる。 |
|  |

（注意）貨物情報欄の（数量）には、貨物の容積（容積トン（M/T））及び重量（重量トン（K/T））をそれぞれ記載してください。

 　　（A4）